

平成27年 第7回福島町教育委員会会議録

□開催日時	平成27年7月27日(火)午後6時10分～午後7時50分	
□開催場所	福島町役場 庁議室	
□出席委員	委員長 平沼竜平 君、委員 佐々木幸夫 君、委員 阿部 透 君 委員 佐藤節子 君、教育長 盛川 哲 君	5名
□欠席委員	なし	0名
□委員以外 の出席者 【説明員】	学校教育課長兼給食センター長 飯田富雄 君、生涯学習課長 阿部憲一 君、 学校教育係長 石川秀二 君	3名

会議成立・開会

○委員長 ご苦勞様です。それでは平成27年第7回福島町教育委員会会議を行います。

ただ今の出席委員数は5名で、在任委員の半数に達しておりますので、会議は成立いたしました。よって平成27年第7回福島町教育委員会会議を開催いたします。

会議日程

○委員長 本日の会議は、皆さんに配布の会議議事日程に従って行いますので、よろしくお願ひします。

会議録署名委員の指名

○委員長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員には、佐藤委員を指名いたします。

会期の決定

○委員長 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期委員会の会期は本日一日といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、会期は本日一日と決定いたしました。

事務報告

○委員長 日程第3、事務報告を行います。まず、教育長から重点報告をお願いします。

○教育長 ご苦勞様でございます。私の方から何点か報告いたします。1番目、教職員の健康管理等についてでございます。1学期中に教職員の病気等にかかる事案が複数あり、その概要を現時点でまとめましたので、後ほど報告いたします。

2番目、中学校教科書の採択についてでございます。平成28年度から中学校で使用する教科書の採択作業を平成27年度中に行うこととなっております。当町は渡島管内の1市9町で構成する「北海道第二地区採択協議会」に属しており、去る7月21日第3回協議会において選定がされましたので、本委員会の議案として提案しております。よろしくお願ひします。

3番目、教育に関する事務の管理及び執行状況に関する点検評価についてでございます。平成26

年度分の事務事業評価の部分を、本委員会に提出しております。後ほどこの委員会としての二次評価をお願いいたします。なお、本日前に開催された役場内での評価委員会の中では教育委員会部局の部分は評価していませんが、町の統一様式をちょっと変更するというような流れがありまして、それは今回の評価の様式には入っておりませんが後で様式を変えて評価していきますよということでお知らせしておきたいと思っております。

4番目、渡島教育委員会連絡協議会関係事務についてでございますが、これは予定でございます。渡島PTA連合会研修会が11月1日に七飯小学校で開催されます。なお同日、南北海道駅伝が当町でありますけれども、教育委員の中で人員を分けて対応したいと思っておりますのでよろしくお願ひします。渡島管内教育委員会委員研修会が11月5日、福島町福祉センターでの予定となっております。昨年森町で行われました形式になると思われまます。

それからこの中にございませませんが、昨日7月26日に開催されました全道相撲中体連で福島中学校が団体優勝。2年連続でございました。8月22日、23日と十和田市で開催される全国大会に出場することが決まりました。

以上でございます。

○委員長 続きまして、学校教育関係を学校教育係長お願ひします。

○学校教育係長 2ページをお願ひします。前委員会6月2日からの学校教育関係分を報告いたします。

6月7日福島小学校の大運動会が開催されております。教育委員による授業参観については、6月8日福島中学校、6月11日福島小学校、6月19日福島中学校に参観しております。7月2日福島商業高等学校の存続要望として、教育長が北海道庁に訪問し、直接要望書を提出しております。7

月9日札幌市において北海道市町村教育委員研修会が開催されております。7月24日各小中学校の1学期終業式が行われております。翌7月25日から8月18日まで夏休みに入っております。昨日26日に当町において、全道中学校相撲大会が開催され、地元福島中学校が団体優勝、個人戦でも1名2位に入りまして、それぞれ8月22日から青森県十和田市で開催される全国大会へ出場を決めております。続きまして下段、今後の主な予定です。各委員に先程配布しましたが、8月4日生徒友好交流派遣の結団式が開催されます。ご都合のつく委員の皆様はお願ひいたします。8月15日町議会議員選挙が予定されております。8月17日北海道教育研究所より講師を招き、学力向上小中連携セミナーが福島中学校で開催されます。8月19日各小中学校の2学期始業式が行われます。

以上、学校教育関係分の事務報告を終わります。

○委員長 続きまして、生涯学習関係を生涯学習課長お願ひします。

○生涯学習課長 それでは3ページをお願ひします。6月3日南北海道駅伝競走大会実行委員会を開催いたしまして、今年度の要綱を決定しております。7月1日総合体育館改修工事着工となっておりますけれども、入札を5月20日にしておりますが、調整して事務を進め、7月から本格的に工事に取り掛かっているという状況でございます。14日、15日と小学校・中学校でブックフェスティバルを行っております。今日27日、高齢者学級を開催し、消防の施設見学、森林公園等を見ております。現在、通学合宿の実行委員会を開催しているところでございます。今後の予定ですが、本日から学生ボランティア学習サポート事業を行っております。夏季休業中に福島中学校での講習に対して、北海道教育大学の学生等4名のサポートがあります。8月2日小中学生のパークゴルフ教室が行われます。これはノーゲームデー関連事業として行うものであります。8月7日

プール祭り。13日成人祭、14日成人式。15日は町議選の投票日ですけれども、千代の富士杯争奪パークゴルフ大会を例年通り行う予定であります。

以上でございます。

○委員長 続きまして、学校給食センター関係を学校給食センター所長お願いします。

○給食センター所長 4ページをお願いします。学校給食センター関係の事務報告であります。7月17日渡島檜山管内学校給食センター連絡協議会役員会及びセンター長研修会を七飯町で行っております。7月24日は1学期の終業式で、1学期の給食を終了しております。今後の主な行事予定ですけれども、7月29日渡島檜山管内学校給食センター調理員業務職員等研修ということで、乙部町で行われます。書かれてはおりませんが、8月19日2学期の始業式で、中学校からの給食開始となります。

以上でございます。

○委員長 事務報告が終わりました。何かご質問はございませんか。

(「なし」との声あり)

○委員長 質疑なしと認め、事務報告を終結いたします。

議案第1号 平成28年度から中学校にて使用する教科用図書の採択について

○委員長 日程第4、議案第1号、平成28年度から中学校にて使用する教科用図書の採択について、を議題といたします。提案理由の説明を求めます。教育長お願いします。

○教育長 議案第1号、平成28年度から中学校にて使用する教科用図書の採択について、平成28年度から中学校にて使用する教科用図書の採択について。北海道第二地区教科書採択教育委員会協議会より別紙のとおり採択した旨の報告がありましたので、地方教育行政の組織及び運営に関

する法律第21条第6号の規定により意見を求めます。平成27年7月27日提出。記。

2ページをお願いいたします。別紙1でございます。平成28年度より中学校にて使用する教科用図書一覧ということで、そこにはすでに採択年月日、本日の日付が入っておりますので本日決定すればその日付になるということになります。国語につきましては教育出版、書写・教育出版、社会のうち地理・教育出版、歴史・教育出版、公民・教育出版、地図・帝国書院、数学・東京書籍、理科・東京書籍、音楽のうち音楽・教育出版、器楽・教育出版、美術・日本文教出版、保健体育・学研教育みらい、技術・家庭のうち技術分野につきましては開隆堂、家庭分野は開隆堂、英語・東京書籍でございます。3ページには採択理由がそれぞれ書かれておりますが、国語につきましては教育出版として採択理由が、地域性の配慮や単元の配置のバランス、特に読書活動の広がりが工夫されていること。書写につきましては教育出版で、硬筆と毛筆のバランス、つながりが工夫されていること、などです。これらの採択理由をもって、この教科書を採択したいということでありますのでよろしくをお願いいたします。

以上でございます。

○委員長 提案理由の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

(「なし」との声あり)

○委員長 質疑なしと認め、質疑を終わります。

お諮りいたします。ただ今議題となっております議案第1号について原案どおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 ご異議なしと認めます。よって議案第1号については原案どおり可決しました。

議案第2号 平成26年度分教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告書 (案) について

○委員長 日程第5、議案第2号、平成26年度分教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告書(案)について、を議題といたします。本議案については全体的な説明を省略し、点数による評価や担当課評価、昨年と変化のあったものだけを説明願います。まず学校教育課長をお願いします。

○学校教育課長 4ページをお願いいたします。議案第2号、平成26年度分教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告書(案)について。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(平成26年度分事務事業分)について、福島町議会に報告書の提出及び公表するにあたり、福島町教育委員会外部評価委員会に意見を聞く原案として別添のとおり作成しましたので、意見を求めます。平成27年7月27日提出。記。別冊をお願いいたします。点検評価結果表をご覧ください。ご覧いただきましたとおり、今回の項目別評価あるいは担当課評価につきましては、全てAになっております。この中で4番の友好町交流事業は前年度は項目B、担当課もBでした。8番の奨学資金貸付費これは、担当評価Bでした。23番の保健体育総務費これも担当評価Bでした。25番、町民プール運営費については、項目別、担当課評価共にBでした。今年については全てAになっております。

次に整理番号1、事務事業名、教育委員会費について。前年度と同様となっております、一次評価の説明欄、委員会議以外に議題解決のための協議会の開催など、積極的に活動が展開されると。今後の改善策については、総合教育会議や

教育に関する大綱の策定により、町長との連携を密にするということで27年度以降の目標をいうこととなります。項目別、担当評価もAとして評価しております。

次に整理番号2、事務事業名、教育関係団体・大会参加助成費について。前年度同様A評価なんですけども、主に変わったところが達成度の説明欄、相撲は団体で全国大会出場となった。中体連バスケットボール部は、全道大会を逃しているものの、管内では上位で頑張っているということです。一次評価の説明欄、少年団の相撲、空手等は全国大会出場となった。今後の改善策について、なお、横綱の里づくり実現のため、相撲に対する活動助成の充実について検討を要すると説明しております。項目別、一次評価もAとなっております。

次に整理番号3、事務事業名、福島商業高等学校存続対策費について。達成度の説明欄、福中卒業生の減少により入学者の確保が危ぶまれたが、周辺町への周知徹底により町外からの入学者もあって、平成26年度は23人の入学者となったということです。一次評価の説明欄、高校生と中学生に進路希望アンケートを実施したと。今後の改善策につきましては、遠隔地からの入学者受入のため、寄宿舎等の検討が必要である。新たな存続対策として、看護医療系学校の受験対策講座が必要である。再編の基準となる定員20人を15人にしよう、道教委に引き続き強く要望していくと説明しております。項目別、一次評価ともにA評価としております。

次に整理番号4、事務事業名、友好町村交流事業費について。これは達成度の点数が前年度は0だったんですけども、点数を2点あげております。その理由としましては、児童生徒交流事業参加者の感想文等において、交流の評価が高い。また実施後も個々の交流が継続されるなど、生徒交流としての目的を達成していると、26年度は受入も派

遣も当初の計画通り6人と8人で達成しているということで点数を2点あげております。一次評価の説明欄、派遣する中学生の応募がスムーズであった。感想文の表現が豊かになったと、今後の改善策につきましては平成27年度は木曾町への派遣年度であり、これまでは冬季であったが夏季に派遣することで参加者を増やしたいという改善策になっております。それで前年度は、項目別も一次評価もBでしたが、今回はAにしております。

次に整理番号5、事務事業名、ALT招致費について。これも点数が若干上がっております。達成度が前年度より上がっており、これにつきましては複数化により指導時数が格段に増えているということです。前年度480時間から740時間まで増えているということです。一次評価の説明欄、2名体制の実現により、授業時間以外にも学級活動・給食などにも積極的に活動をして、交流を深めていると。今後の改善策として、平成30年度を目途に小学校では、5・6年生の英語の教科化や3・4年生の外国語活動、中学校では英語での授業等がなされることから、今後もALTの2名体制を継続するというので、項目別、一次評価をAにしております。

以上、5項目までの説明を終わります。

○委員長 整理番号5まで説明していただきました。整理番号1の評価についてご意見、ご質問ございますか。

○委員 今後の改善策等を具体的に記入する欄で、今後、教職員との情報交換も必要ですから、二次評価のところにも書き込んでいったらいいのではないですか。

○教育長 一般教職員ということですね。

○委員長 ここの二次評価についてはAということでご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号1については二次評価Aということで決定いたします。

次に整理番号2について、いかがですか。

○委員 給食の関係を触れていますが、給食関係は後から説明があるのでしょうか。

○学校教育課長 教育関係団体のところから、一人200円の助成金を出しております。事業の目的、手段の③学校給食会助成金が200円×249人×12月で597千円ということで、項目があるものですからそれで給食の地場産の関係だとか、食育推進計画の関係だとかを載せているということです。

○委員 給食を充実させるために、増額が必要であると評価しているわけですか。

○学校教育課長 そうです。平成27年度では200円だったのを300円にさせていただくということになります。

○委員長 では、整理番号2については二次評価Aということでお願いします。

(「はい」との声あり)

○委員長 続きまして、整理番号3について、この再編基準となる定員20人を15人にするのは今後とも出して頂ければと思います。そういう意味を込めて二次評価はAでいいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号3は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号4について、いかがですか。

○委員 派遣について、冬季から夏季に変えるというのは決定しているのですか。

○学校教育課長 去年のうちから話をして決まっております。

○委員長 整理番号4について二次評価をAということで、ご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号4は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号5について二次評価Aでござい異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長 異議なしと認め、整理番号5は二次評価Aと決定いたします。

それでは整理番号6から説明をお願いします。

○学校教育課長 整理番号6、事務事業名、児童生徒輸送費について。一次評価の説明欄、千軒地区の登校時は、用務員（冬季は教委職員）で対応していたが、三岳2地区も含めて委託としたと。今後の改善策として、各学校の諸活動によって町の福祉バス等もフル活用の様相にあり、学校の要求に応えるための、車両の確保や運転技術員（臨時職員）の配置について必要な調整を行う。また、寄贈されたバスが老朽化したため、福祉バス2号車を代替バスとして利用しており、今後の更新について検討が必要であると評価しております。27年度に入って寄贈されたバスは廃車としておりますので今後の更新が必要ということになります。

続きまして整理番号7、事務事業名、就園・就学奨励援助費について。達成度の表現を若干変えております。指標①、私立幼稚園の就園奨励費受給者数は非該当者が2名おり、16人中14人で88%ということになります。指標②は数値が高ければ低所得者が多いということになりますが、必要な援助をすることにより、教育の機会均等を図っているということになります。一次評価の説明欄で、生活保護費の改正に伴い準要保護の認定基準について、生活保護費（改正前）の1.3倍未満に拡大したということになります。今後の改善策として、現行の認定基準を継続するという事で説明しております。

続きまして整理番号8、事務事業名、奨学資金貸付費について。26年度中に条例改正しましたので、事業の目的、(3)の手段、奨学資金貸付事業ということでここで条例改正の詳細を記載しております。平成26年度12月に町奨学資金条例を改正し、貸付け限度額、一時金貸付を創設し、26

年度から一時金については貸付けをしているということです。達成度の説明欄、希望者の資金需要を勘案し改正した結果、利用者の増につながったということです。一次評価の説明欄、利用者のニーズに合うよう町奨学資金条例を改正し、入学前でも一時金の貸付が可能としたと。今後の改善策として、今後は専門学校の修学年数など、制度の変化に対応した改正を検討するという事で、項目別も一次評価もAとしております。

続きまして整理番号9、事務事業名、基礎学力向上支援事業費について。一次評価の説明欄をお願いします。町独自の数学TTは、平成22年度から実施している事業であります。平成26年から道教委の指導工夫改善事業で加配(2校)を受け、TTのほか習熟度別指導も行っている。道教委の巡回指導教員事業の採択により、算数・理科でのTT体制を実施しているということになります。改善策については、教員加配の継続を道教委に要望する。教委と学校、そして教育研究組織等を巻き込んだ取組が必要であり、家庭学習の時間増については、保護者の理解と協力が不可欠であると。今後も教員の授業力向上のため、研修機会を増やす施策が必要であると説明しており、項目別、一次評価をAにしております。

続きまして整理番号10、事務事業名、教員住宅管理費について。これにつきましては達成度、平成26年度は全戸入居となったと。一次評価の説明欄、入居率が100%となった。補修・改修が計画的になされていると。今後の改善策につきましては、総合計画の中で浄化槽対応を含めた3ヶ所給湯等の改修を進めたいということで説明しております。そして項目別、一次評価もAとしております。

以上整理番号6から10までの説明を終わります。

○委員長 整理番号6についてご意見・ご質問ございませんか。私は今後の改善策についてもう少

しパワーアップしてもいいのではと、更なる拡充をこの改善策に求めます。以上を踏まえて二次評価をAといたしますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号6は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号7についてここも現行の基準でそのままいっていることに問題はないと思いますので、二次評価をAといたしますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号7は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号8についてこちらも二次評価をAといたしたいと、ただ定住促進のほうまでいけなかったのが、出来ればそちらのほうまで頑張してほしいなと希望があります。それを含めてAといたしますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号8は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号9について、TTですけども活動内容に向上がみられるということで、改善策のとおりかなと思っておりますがいかがですか。

○委員 家庭内での学習が大切であることから、二次評価の説明欄で家庭での教育に対する興味関心を促すことが大切である、等と記載してはどうですか。

○委員長 わかりました。それを踏まえて二次評価をAといたしますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号9は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号10について、こちらは入居率が100%の一次評価をうけておりますので、A評価にしたいと思っておりますがご異議ございませ

んか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号10は二次評価Aと決定いたします。

○学校教育課長 それでは整理番号11から15で学校教育分を終わります。

整理番号11、事務事業名、私立学校振興費について。達成度の指標につきましては3歳～5歳の園児数20%を見込んでおり、当初の計画通りの指標になったということです。一次評価の説明欄については、助成金の算出基準を明確にし、交付要綱を改正したということで平成26年4月1日から適用していますよと。基本割600千円・教員数割1人30千円・園児数割1人1千円と改正したということでもあります。そして去年からは認定こども園への移行が検討されているということです。評価は項目別、一次評価ともにAとなっております。

続きまして整理番号12、事務事業名、小学校管理費について。一次評価の説明欄をお願いします。また平成24年度からは吉岡小学校にも特別支援(介助)員を配置していたが、自立可能となったことから廃止したと。福島小学校の木製コンビネーション遊具が老朽化したため、ブランコ・雲梯・滑り台を設置したということです。今後の改善策につきましては、タブレット型端末等を活用した授業の効果があることから、その整備に向けて協議を進める必要がある。また、校務用のパソコンの更新についても検討が必要であると説明しております。これも項目別、一次評価Aとなっております。

続きまして整理番号13、事務事業名、中学校管理費について。一次評価の説明欄、保護者と協議のうえ、特別支援学級(情緒)を新たに設置したと。今後の改善策については、小学校と同様のタブレット型端末についてうたっております。これも項目別、一次評価Aとしております。

続きまして整理番号 14、事務事業名、学校給食センター費。一次評価の説明欄、26 年度からは消費税引き上げに伴い、月額 100 円の値上げをしたと。今後の改善策として、食育推進計画に基づいて、地元産米や地場産食材の使用割合を高くしていくため、町助成金の増額が必要であるということになります。ここも項目別、一次評価 A としております。

続きまして整理番号 15、事務事業名、施設維持管理費。給食センターの維持管理費になります。一次評価の説明欄、本年度は旧センターからの移設ボイラのポンプ修繕があったということで、項目別、一次評価ともに A 評価にしております。

以上で学校教育分を終わります。

○委員長 それでは整理番号 11 について、ここは A 評価でいいと思いますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 11 は二次評価 A と決定いたします。

続きまして、整理番号 12、13 について、ここも A 評価でいいと思いますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 12、整理番号 13 は二次評価 A と決定いたします。

続きまして整理番号 14 について、ここも A 評価でいいと思いますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 14 は二次評価 A と決定いたします。

続きまして整理番号 15 について、ここも A 評価でいいと思いますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 15 は二次評価 A と決定いたします。

整理番号 15 まで終了しました。暫時休憩いた

します。

《休憩 19 : 05~19 : 10》

○委員長 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。整理番号 16 から生涯学習課長お願いします。

○生涯学習課長 整理番号 16 から整理番号 21 までの説明をいたします。項目別、一次評価の点数は全て A と説明しておりますのでその説明は省かせていただきます。

整理番号 16、事務事業名、社会教育総務費について。変わったところが一次評価の説明欄、チロップ館の特別展示(雛人形等)についての PR は、報道機関(新聞)を利用して行った。又、11 月には全戸配布チラシで周知し古民具の一般公開を行ったという部分です。今後の改善策については、チロップ館は古民具の展示に加え、平成 28 年度末返却予定の埋蔵文化財保管庫としても活用する。平成 28 年度に改修工事を行うとともに、学芸員及び管理者の位置付けを整理していくとしております。

続きまして整理番号 17、事務事業名、読書活動費について。必要性の部分で少し変えております。①の国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められているという部分にまるをつけました。その理由が、パソコンや携帯電話等の普及により、活字離れが急速に進んでいると。また、書店の減少も続いており、図書館に求められる役割は拡大しているということでもまるをつけました。一次評価の説明欄、また、読書活動推進委員会において読書活動推進計画の実効性を高めるための方策の本格的議論を始め、ボランティア組織や学校、利用者などとの連携を強めた。平成 26 年度は図書館ボランティアを立ち上げ、6 名の登録により各種事業のサポートを展開しているということです。改善策については、平成 27 年度は「ビブリオバトル」的な事業の工夫や平成 28 年度から供用開始となる吉岡

総合センターの「みんなの本棚」の手法についても、読書活動推進委員会で協議進めてまいりますと整理しております。

続きまして整理番号 18、事務事業名、成人教育費について。ここの部分については坦々と進めているというところを変えているところは、効果性の費用の関係ですけども、単位コストの説明欄、おおむね横ばいで推移している、3年間の増減は止むを得ない理由の事業中止などというところでは。

続きまして整理番号 19、事務事業名、青年教育費について。特に記載を変更しているところはありません。ある程度の実績、効果が見込まれておりますので同様の評価としております。

続きまして整理番号 20、事務事業費、少年教育費について。効果性の単位コストの説明欄、事業費はおおむね横ばいで推移している。平成 25 年からは通学合宿開始により増としているということです。それから一次評価の説明欄、今度の改善策について平成 25 年度から取り組んでいる通学合宿事業については、参加者や協力者等の意見を確認しながら、福島町にあった手法を確立していくと。また、土曜学習についても学校と連携のうへ検討していくと整理しております。

続きまして整理番号 21、事務事業名、芸術・文化費について。事業の目的の手段のところ平成 26 年度実施事業の記載をしております。幼児対象には、人形劇観賞会で劇団風の子北海道によるご覧の事案です。大谷短大「光る影絵のサーカス」、小学生対象には、劇団風の子、一般対象には、町民文化祭、将棋大会などがあります。それから一次評価の説明欄、平成 26 年度は文化団体協議会との連携の中で、大雪山写真ミュージアム館長の市根井孝悦氏の文化講演会を実施し、町民の文化に触れる機会の確保に努めたということで整理しております。

以上で、前半 6 つの説明を終わります。

○委員長 整理番号 16 について、いかがですか。

○委員 チロップ館の PR を強化すべきと思います。

○委員長 今後の PR をつなぐわえるということで評価を A といたしますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 16 は二次評価 A と決定いたします。

続きまして整理番号 17 についていかがですか。

○委員 ビブリオバトル的とはどういう意味ですか。

○生涯学習課長 本を紹介して、点数をつけて戦うというもので、色々な書店で行われている手法になります。今年の中学校でのブックフェスのときも、それに近いような形の手法でやりました。

○委員長 以上を踏まえてここは A 評価でご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 17 は二次評価 A と決定いたします。

続きまして整理番号 18 についていかがですか。

○委員 社会教育主事の設置や養成の部分はどうかしたいなと思います。

○生涯学習課長 いれるとすれば社会教育総務費だと思うんですけど、社会教育主事の資格を持っている職員はいます。ただ社会教育主事としての人事のはりつけをしているわけではないという段階です。

○委員長 いずれかに要望をいただければと思います。以上を踏まえて A 評価といたしますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 18 は二次評価 A と決定いたします。

続きまして整理番号 19、ここはこのまま A 評価でいいと思いますがご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長 異議なしと認め、整理番号 19 は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号 20、いかがですか。

○委員 通学合宿について、参加者増員の工夫を図るべきですね。

○委員長 はい。それを含めて、ここもA評価で異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長 異議なしと認め、整理番号 20 は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号 21 についていかがでしょうか。

○委員 劇団風の子などはここ最近同じ劇団なのでしょうか。

○生涯学習課長 毎年変えております。小学生対象のものは4町で決めるものとなっております。

○委員長 以上を踏まえてここはA評価で異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長 異議なしと認め、整理番号 21 は二次評価Aと決定いたします。

それでは整理番号 22 からの説明をお願いします。

○生涯学習課長 整理番号 22、事務事業名、文化財保護費について。ここは結構大幅に変えております。必要性、(2)社会情勢や町民ニーズの変化等の④にまるをつけております。なぜかと言いますと、説明欄、平成 28 年度末に返却が予定されている館崎埋蔵文化財出土品の保存活用対応が急務となっているという整理になっております。それから達成度のところで、去年は歴史講座の部分で指標を整理していたんですけども、文化財のほうにシフトしたいなということで文化財保存団体助成件数金額を指標にしております。3件266千円という額できていますけども、3件の助成を指標しています。二つ目の指標として、保存団体

講演回数を 25 回の指標にしております。そしてその実績を下の方にパーセントで示しております。説明欄ですけども、文化財の公開や講座の開催により、町民に対する町の歴史や文化財についての啓蒙普及活動を図った。無形文化財の講演回数では白符荒馬踊と福島大神宮祭行列が年1回だが、松前神楽は平成 26 年度 25 回の実施となったということです。一次評価の説明欄、松前神楽については、道教委が主体となり国指定に向けた調査事業を平成 26 年度に着手したと。町としても平成 26 年度は用具購入補助を行い、団体としても保存普及に積極的に取り組んでいる。祭礼行列については、演技者の確保に苦勞しながらも保存普及に努めている。白符荒馬踊保存会は少年団を結成し、後継者育成に向け活動している。文化財一般公開や歴史講座の開催も随時実施していると整理しております。今後の改善策ですけども、松前神楽については、国指定に向けた調査事業が平成 28 年度に終了することになり、状況に応じた公開等の事業を、道や連合保存会と協議のうえ実施していく。さらに、今後、文化財保護に関する長期的なプランを作成していくと整理しております。

続きまして整理番号 23、事務事業名、保健体育総務費について。変更点が達成度の少年の部分の実績が上がっております。それに伴って②の意図した成果が得られている。のところにまるを付けております。説明欄の指標①の主な要因は、小学生全児童を対象にした「相撲に親しむ教室」の開催によるものでございます。それから効果性の単位コストの説明欄、平成 26 年度は備品購入等の臨時的経費があったが、経常経費は横ばいで推移していると。一次評価の説明欄、南北駅伝競走大会については、交通安全対策検討のため長期間をかけて警察と実行委員会（部会）が協議を進め一定の結論をだしていると。そして今後の改善策なんですけども、南北駅伝競走大会については、平

成 26 年度で交通安全対策に一定の結論をだしたが、随時、運営方法の見直しを検討すると。また、スポーツ人口の減少に伴い、総合型スポーツクラブの検討を進める必要があるということで、これは昨年度駅伝の部分、少し問題があるということでB評価にしておりましたが、ある程度の整理ができたということでA評価にしております。

続きまして整理番号 24、事務事業名、総合体育館運営費について。変わったところは効果性の単位コストの説明欄、経常経費は横ばい、ただし、平成 26 年には耐震診断実施設計及びアリーナ床改修事業を実施ということです。次に一次評価の説明欄、平成 26 年度は、耐震化等実施設計及びアリーナ床改修工事を実施したと。今後の改善策は、平成 27 年度は耐震改修等工事を実施すると整理しております。

続きまして整理番号 25、事務事業名、町民プール運営費について。達成度の説明欄、平成 26 年度に接遇の改善対策や試験的にプール無料の日やイベントを行い、減少傾向に歯止めをかけているということです。次に一次評価の説明欄、平成 26 年度の管理委託については、接遇面・安全面において一定の改善を図った。また、プール無料の日に試行やイベントを開催するなど、利用減に歯止めをかけるための対策を実施し一定の実績を上げた。今後の改善策については、平成 27 年度も利用減対策を進め、施設の有効利用を図る。平成 28 年度に向けて無料化についても再度提案していきたいと整理をしております。

続きまして、整理番号 26、事務事業名、ファミリースポーツ公園管理費について。達成度の説明欄、パークゴルフ競技人口の定着により安定的な利用者数を確保しているという部分だけが変更になっております。あとの部分は安定的に実績を積んでおります。

続きまして整理番号 27、事務事業名、福祉センター運営費について。一次評価の説明欄、平成 26

年度は耐震診断を実施し、耐震改修の概算工事費 1 億 4 千万円を総合計画に計上した。今後の改善策については、具体的には、当町局と協議のうえ、耐震改修と合わせた老朽箇所等の改修のための実施設計を時期を見て実施し、総合計画を変更のうえ、事業実施していくという整理になっております。

以上で説明を終わります。

○委員長 それでは整理番号 22 について、ここはA評価といたしますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 22 は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号 23 について、駅伝の交通安全対策についてはよくやっただけしているので評価をAといたしますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 23 は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号 24 について、耐震工事も行ってまいりますのでここもA評価でよろしいと思えますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 24 は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号 25、ここもA評価といたしますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 25 は二次評価Aと決定いたします。

続きまして整理番号 26、ここもA評価といたしますがご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 26 は二次評価Aと決定いたします。

最後に整理番号 27、ここもA評価といたします

がご異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長 異議なしと認め、整理番号 27 は二次評価Aと決定いたします。

以上で全て終了しました。

○委員 保健体育総務費の今後の改善策のところで、総合型スポーツクラブというのはどういったことですか。

○生涯学習課長 少年団の人口が少なくなってきた現状を踏まえて、総合型スポーツクラブで色々なスポーツをさせるなどを地元の人達が考えて対応していくと、人口が少なくなるなかで、色々な弊害がでてくるんですけどもその部分を工夫して地域の中で進めていくということです。

○委員 わかりました。

○委員長 以上で議案第2号についてはすべて終了しました。

○学校教育課長 補足説明いたします。A3版の赤線で枠が付いている部分なんですけど、町内の評価委員会で様式の中身が変わることになりました。一番変わるのが達成度。今まではまるを2つつけることが可能だったのですが、今回の変更でまるを1つしかつけられなくなりました。なので最高点が1点になります。今後は点数が下がりますけども、項目別点数による評価のところでは今までは2と3のところには太線が入っていましたが、今後は1と2のところには太線が入り、最低ラインが下がりますので評価自体は変わらないということになります。外部評価につきましては、この部分を直しまして評価していただきます。教育委員会で報告としてあげる部分についても直していくこととなります。

閉会宣言

○委員長 以上で本委員会に付議された案件は

全て終了いたしました。よって平成27年第7回教育委員会会議を閉会いたします。本日はご苦勞さまでした。